

消防団 特集!

わがまちを守る 所沢市消防団



活躍しています 消防団員 地域の消防団を知っていただくために



撮影：市民カメラマン・中村 仁

男性団員 女性団員 所沢市消防団員募集

郷土と一緒に守る仲間を募集しています。

対象 ▶市内在住の18歳以上の方 ▶所沢市内に在勤・在学の人で所沢市に隣接する市に居住する18歳以上の方

◎ただし、6か月以上にわたり居住地を離れ生活する方は応募できません。

待遇 ▶身分は特別職の地方公務員 ▶条例で定める報酬等を支給 ▶消防団活動中のけが等に対する補償有り ▶制服・盛夏服・作業服一式を貸与

◎申込方法等の詳細はお問い合わせください。

問い合わせ 消防本部警防課 (☎2929-9122・FAX 2929-9129・Eメールアドレス b29299122@city.tokorozawa.saitama.jp)

災害活動

消防団は、昼夜を問わず災害に対応します。

災害出場実績 (平成19年度)

火災出場	29回 延べ328人
------	------------

▲女性消防団員による単身高齢者防火訪問を実施。住宅防火の推進を図っています。

【活かされた応急手当】

第8分団 菊池 尚 団員

バイクの事故現場に遭遇した私は、頭から血を流し倒れている運転者に止血を行い、救急車の手配をしました。しかし、応急手当の知識がなければ勇気を出すことはできませんでした。その後、早い応急手当が良かったと連絡をいただき、消防団員として応急手当の訓練に参加して良かった！と心から思いました。地域の役に立ちたいと思うことは誰にでもあるはず。その気持ちを私たちと一緒に生かしてみませんか！

【地域の中の消防団】

第2分団 荒幡雅一 分団長

小学生のころ、ある火災現場で自衛消防隊員だった父の活動を偶然見たのが、消防との最初のかかわりでした。現在、私は消防団活動を通じ、新たな仲間ができ、改めて地域に関心を持つことが自然な姿であり、その中で育んだ個々の力の集まりが地域防災、地域コミュニティの形成に必要な要素の一つであることを確信しています。活力ある強い町を作るために、まずは一歩を踏み出しましょう。入団をお待ちしています。

【女性消防団員にあこがれて】

保川直子 女性消防団員

私は救命講習会に参加し、消防署の方と一緒に堂々と指導する女性消防団員の方に驚きました。初めて女性消防団員の活動を目の当たりにし「私もやってみたい!」と思いました。今、私は女性消防団員として、救命講習会、単身高齢者防火訪問、広報活動などを行い、活動をするたび、感動ややりがい、楽しさを実感しています。また、新たな女性消防団員の仲間ができ、喜びも感じ、多くの市民の皆さんに女性消防団員を知ってもらえるよう頑張ります。

【入団してよかった!】

斎藤友紀子 女性消防団員

私が女性消防団員になったきっかけは「人のために何か役に立ちたい!」という気持ちからでした。女性消防団員の活動の中に救命講習会で応急手当を市民の皆さんに指導する仕事があります。受講者の方が熱心に取り組む姿は、事故等に遭遇したときに「助けて!」という熱意が伝わり、指導する意欲がますますわいてきます。また、単身高齢者防火訪問では、いろいろなお話が勉強になります。「消防団に入団してよかった!」と心から思える毎日です。

訓練・研修・行事

消防団員研修

消防団特別点検

年末火災特別警戒で火災予防広報を実施

ポンプ車操法訓練

活動実績 (平成19年度)

訓練・研修	178件 延べ2,780人
警戒	31回 延べ320人

応急手当等の指導・広報活動

女性消防団員が大活躍!

防災訓練での応急手当指導

消防・防災広報活動

市民とふれあう団員

単身高齢者防火訪問 (写真は左ページに掲載)

活動実績 (平成19年度)

消防行事での広報活動	14回 延べ107人
救命講習会などの応急手当指導	31回 延べ82人
単身高齢者防火訪問による火災予防指導	16回 延べ30人

市では、市民の皆さんの生命や財産を火災や地震などの災害から守るため、消防団を設置しています。消防団員の皆さんは、普段は自分の仕事をしています。火災や災害があれば、現場に駆けつけて消火活動や防災活動に従事します。私たちが知らないところで訓練に励み、地域の皆さんが安心して安全に暮らせるようさまざまな活動に従事している消防団員の活動の様子を紹介します。

※問い合わせ 消防本部警防課 (☎2929-9122・FAX 2929-9129)

魅力ある消防団へ

所沢市消防団 関根一彌 団長

われわれ消防団は、自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛の精神と、あらゆる災害から地域住民の安全・安心を守るという使命を持つ、歴史と伝統のある団体です。生業の傍ら、災害時には現場に出勤し、日常では昼夜を問わず災害対応のための訓練や、火災予防、警戒活動、地域行事への参加等さまざまな活動を行っています。

しかしながら、近年、団員の職業・勤務地等の状況から、新たな団員の確保、日中の災害対応などの課題を抱えています。これからの消防団は、地域防災の中核的存在として、知識や技術の習得に努め、災害に強いまちづくりに貢献すると共に、伝統ある消防団に若者が魅力を感じるようになってほしい。日ごろより、活動にご理解をいただいている、団員の職場関係者をはじめご家族に感謝を申し上げますとともに、市民の皆様のご期待にこたえよう、325名の団員一同、更なる消防活動技術の向上に努め、地域に密着した防災活動に全力を尽くしてまいります。更なるご支援をよろしくお願い申し上げます。

所沢市消防団は、昭和22年の法改正に伴い「警防団」から「消防団」と改称し、今年で61年目を迎えます。市の消防団の組織は、昭和43年10月からほぼ現在と同様の組織となり、地域に密着した活動が行えるように、団本部と適正に配置された10個分団には消防ポンプ車1台を配備し、市内全域を管轄しています。

はばだけ女性消防団員

平成18年度に、所沢市で初の女性消防団員を採用し、現在20人の女性消防団員が団本部に属し、広報活動や応急手当等の指導など市民の皆さんに身近な活動を展開し、消防団活動の幅が広がりました。さらに今後、女性消防団員が災害出動にも対応できるように、訓練を重ねていきます。

